

1月20日 (月)

10:00~16:00

真言宗豊山派岡林寺



だるま市

甘酒（無料）と達磨で身も心も温まる。

2014年 牛年、目標は決まったけど達成するのはちょっと不安。

そんなあなたを励ます縁起だるま。

少林山達磨寺の縁起だるまで大願成就。

振り返ればあの年だったと言える年にしましょう。

禅の道場 少林山達磨寺（高崎市）

元禄十年（1696年）厩橋城（前橋城）主酒井公が水戸光圀公にお願いして、中国僧心越（しんえつ）禅師を迎え、禅の道場として開かれました。

縁起だるまのモチーフは達磨大師

今から200年程前、天明の大飢饉の後、農民救済のため九代東嶽（とうがく）和尚は、心越禅師の描かれた達磨大師の図を手本に木型を作り、農家の副業に張り子だるまを作らせ七草大祭で売らせたと評判となりました。

禅宗の初祖達磨大師

インドの香至（こうし）国の王地子として生まれ、出家しお釈迦様から28代目の教えを継がれて中国に渡りました。七転び八起き、不撓不屈（ふとうふくつ）の精神は宗派を越えて誰からも親しまれ慕われています。

願かけ達磨

養蚕農家が七転び八起きにあやかって、繭の起き（目覚め—4回脱皮すること）がよくなるように大当たりの祈願をするため、目を描かず願いを込めて片目（向かって右）に墨を入れました。

やがて繭が良い繭を作ると、残った片目にも墨を入れて大当たりと喜びお祝いをしました。

